

専 門 科 目

問題用紙

<注意事項>

- 1) A～N群のうちから2群を選択し、選択した2群の中からそれぞれ1問について解答すること。
- 2) 選択した問題各1問につき、答案用紙1枚を使用して解答すること。
- 3) 各答案用紙の上段にある枠内に、選択した問題の群、番号および領域名を明記すること。

<例> 「体育・スポーツ経営学」の問題を選択した場合

選択した問題	群	番号	領域名
	C	1	体育・スポーツ経営学

- 4) 答案用紙には、受験番号を必ず記入すること。
- 5) 問題用紙、答案用紙、下書き用紙は、すべて回収するため、持ち帰らないこと。

平成31年度博士前期課程体育学専攻入学試験問題(専門科目)

A群

A-1 (体育・スポーツ哲学)

運動部活動の教育的意義について、3つの観点をあげながら具体的に説明しなさい。

A-2 (体育史・スポーツ人類学)

日本における欧米近代体育の導入と普及について述べなさい。

A-3 (武道学)

「五輪書」について説明しなさい。

B群

B-1 (スポーツ社会学)

甲子園野球を例にあげながら、日本におけるスポーツ・イベントの特徴について説明しなさい。

B-2 (体育心理学)

運動技能学習における3つの段階について説明しなさい。また、学習段階で用いられる制御システムについて述べなさい。

C群

C-1 (体育・スポーツ経営学)

学校における基本的体育・スポーツ事業とその具体例をあげ、各々の基本的な役割について説明しなさい。

C-2 (スポーツ政策学)

日本における国と地方のスポーツ所管部局について、その根拠となる法律をあげて説明しなさい。

C-3 (スポーツ産業学)

企業がスポーツのスポンサーになる理由について説明しなさい。

D群

D-1 (体育科教育学)

優れた体育授業の特徴を4つあげて、具体例を示しながら説明しなさい。

D-2 (アダプテッド体育・スポーツ学)

視覚障害者を教育の対象とした特別支援学校で行われる体育の特徴について、アダプテッド体育の視点から具体例をあげて説明しなさい。

E群

E-1 (健康教育学)

学校における性に関する指導について、児童・生徒に身に付けさせたい能力をあげなさい。また、その指導に当たっての配慮事項について説明しなさい。

E-2 (環境保健学)

下水処理における活性汚泥法について説明しなさい。

F群

F-1 (運動生理学)

ヒトの暑熱環境下での体温調節機能について説明しなさい。

F-2 (運動生化学)

低強度運動を長時間、疲労困憊まで行う際に分泌され、ストレスマーカーとしても用いられるホルモンがあるが、ホルモン名、分泌臓器および分泌機構について説明しなさい。

F-3 (運動栄養学)

試合当日における試合前の栄養補給法について、具体的な方法とその方法が望ましいとされる理由を説明しなさい。

G群

G-1 (体力学)

小学生から高校生への発育・発達にともない、重点的にトレーニングすべき体力要素が変化する。このことについて適時性の観点から説明しなさい。

G-2 (健康増進学)

介護予防の観点から生活機能について説明しなさい。

G-3 (体育測定評価学)

青少年の筋力を評価するための新体力テストの測定方法について説明しなさい。

H群

H-1 (内科系スポーツ医学)

運動療法が有効な糖尿病について説明し、運動の急性効果と慢性効果について述べなさい。

H-2 (外科系スポーツ医学)

運動器のメディカルチェックについて説明しなさい。

I 群

I-1 (スポーツバイオメカニクス)

打具の撃心について説明するとともに、その決定因子について述べなさい。

I-2 (応用解剖学)

呼吸に関与する筋について説明しなさい。

J 群

J-1 (コーチング論・トレーニング学)

コーチ育成のためのモデル・コア・カリキュラムで示されている、グッドコーチに求められる資質能力について説明しなさい。

J-2 (スポーツ運動学)

動感身体知としてのコツとカンについて具体的な運動を例にあげて説明しなさい。

K 群

K-1 (体操コーチング論)

体づくり運動の指導において、運動を苦手とする児童・生徒に配慮する点について述べなさい。

K-2 (体操競技コーチング論)

体操競技の技を指導する際の安全上の留意点について説明しなさい。

K-3 (陸上競技コーチング論)

100m 走におけるゴールタイムの優劣に影響を及ぼす要因について、疾走速度の観点から説明しなさい。

K-4 (水泳競技コーチング論)

水泳競技者の腰部障害と肩関節障害について、その発生原因と予防策を説明しなさい。

L 群

L-1 (バレーボールコーチング論)

バレーボールにおけるブロックの目的を分類し、それぞれについて説明しなさい。

L-2 (バスケットボールコーチング論)

トランジションディフェンスの指導において、ファストブレイクを防ぐために必要な基本原則を述べなさい。

L-3 (ハンドボールコーチング論)

ポストシュートに対するゴールキーピングに必要とされる技術・戦術について説明しなさい。

L-4 (サッカーコーチング論)

ボールコントロールの際に相手にボールを奪われる原因について説明しなさい。

L-5 (ラグビーコーチング論)

ボールキャリアがゲインをして、ボールを継続するために、どのようにコーチングをすればよいのかについて説明しなさい。

L-6 (ラケットバッドスポーツコーチング論)

卓球、バドミントン、テニス、野球のいずれか一つを選択し、フットワークの重要性とそのトレーニング方法について述べなさい。

M群

M-1 (柔道コーチング論)

大内刈りから大外刈りへの連絡について、具体的に説明しなさい。

M-2 (剣道コーチング論)

剣道の基本動作から応用動作への移行にあたっての留意点を述べなさい。

M-3 (弓道コーチング論)

弓道における射法と体配の関係について説明しなさい。

N群

N-1 (野外運動論)

アルペンスキーの初心者に、プルークボーゲンを指導する際に留意すべき点について説明しなさい。

N-2 (舞踊論)

クラシックバレエにおける運動技術の特徴を述べなさい。